

第7回アジア冬季大会 2011年1月31日~2月6日 カザフスタン国アルマトイ市

オリエンテーリング普及の
斬り込み隊として、2011年1
月に開催された第7回アジア
冬季大会にスキーオリエン
テーリングが正式種目に加
わった。

2011年1月31日~2月6日
第7回アジア冬季大会
カザフスタン共和国アルマトイ市



普及への斬り込み隊

ひとくちに「オリエンテーリングの普及」といってもいろいろな形がある。どのような姿になれば「普及した」と言えるのか。人それぞれに思う姿は違うだろう。

その中でも「オリエンテーリング」という文字とともに、競技の姿が広くメディアやスポーツ関係者に知られることは普及のひとつ形であることは間違いない。そのためにはオリンピックを始めいろんな人が関心を持つ総合スポーツ大会の種目として実施され、これに参加することが重要だと思う。

オリエンテーリングはフット0を基本として、スキー0、MTBO、トレイル0の合計4競技が行われているが、この中でオリンピックに一番近いスキーオリエンテーリング競技が斬り込み隊の役割を担っている。

そんな中、第7回アジア冬季大会でスキーオリエンテーリングが正式種目として実施された。オリンピック種目にもなっているクロスカントリースキーやバイアスロンと並んで同じ競技場で開催されたのだ。

日本は不参加

だが今回のアジア冬季大会のスキーオリエンテーリング種目に日本から選手を送ることはなかった。

アジア冬季大会は日本オリンピック委員会(JOC)が派遣するもので、日本オリエンテーリング協会(JOA)が派遣するのではない。JOCによるアジア冬季大会の派遣種目決定の時にスキーオリエンテーリング種目は選ばれなかった。

ほかにも今回の冬季アジア大会で日本が参加しなかった種目は、アルペンスキー、バンディがある。

それでも視察団はゆく

残念ながら正式種目にはならなかったが、アジア冬季大会視察団として日本から3名がカザフスタンに行くことになった。この3名を招待したのは、主管者であるカザフスタンオリエンテーリング連盟である。

堀江守弘は裁定委員兼テストランナーとして、大里真理子と木村佳司は、オブザーバーとしての参加だった。

次回アジア冬季大会は日本

今回のカザフスタン・アジア冬季大会2011の次に行われるアジア冬季大会が日本の北海道で開催される。

視察団の目的は、次回の北海道大会においても引き続きスキーオリエンテーリングを正式種目にするための活動である。競技や運営を実際に見て体感することももちろん重要である。しか

しそれ以上に重要なのが、アジア冬季大会に関わるキーパーソンとの人脈を広げることだ。



レオリビ君のスキーオリエンテーリング
(大会マスコットのユキヒョウ)

視察自体は一定の成果

そんな目的をもって活動を行った結果、視察は一定の成果を出したと言えるだろう。アジア冬季大会に関わる日本選手団の関係者や国際オリエンテーリング連盟の関係者との人脈をつくることができた。またインターネットやこのオリエンテーリングマガジンを通じて世界で、アジアで何が起きているのかを伝えることができた。

もちろん次回のアジア冬季大会でオリエンテーリングが正式種目に入ることを目指すのだが、そこに至るプロセスこそがオリエンテーリング全体の普及の斬り込み隊となっている。

(木村佳司)



堀江守弘 / 大里真理子 / カザフスタンのジャーナリスト / 木村佳司